

公示番号：19a00245

国名：フィリピン

担当部署：地球環境部 防災グループ 防災第一チーム

案件名：フィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発（SATREPS）  
中間レビュー（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2019年8月上旬から2019年9月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.70M/M、合計 1.20M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	21日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：7月17日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着) 提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>公告・公示情報/結果>コンサルタント等契約案件公示(業務実施契約(単独型))>業務実施契約(単独型)公示にかかる応募手続き)  
([https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/competition\\_2019.pdf](https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/competition_2019.pdf))  
をご覧ください。なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。
- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2019年7月30日(火)までに個別に通知します。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

①業務実施の基本方針	16点
②業務実施上のバックアップ体制等	4点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等：

①類似業務の経験	40点
②対象国又は同類似地域での業務経験	8点
③語学力	16点
④その他学位、資格等	16点

(計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	フィリピン／全途上国
語学の種類	英語

## 5. 条件等

(1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

(2) 必要予防接種：特になし

## 6. 業務の背景

フィリピン共和国(以下、「フィリピン国」とする)は台風の経路である太平洋西縁の亜熱帯モンスーン地域に位置しており、一年を通じて熱帯低気圧、南西・北東モンスーン及び激しい雷雨などの様々な気象災害に見舞われ、洪水、地滑りにより過去多くの人命が失われてきた世界でも有数の気象災害の被災国である。

社会資本及び首都機能が集中するマニラ首都圏では、経済被害の軽減・緩和のためにも特に災害対策が急務となっている。マニラ首都圏においては、台風や積乱雲の急激な発達による集中豪雨による洪水や土砂災害、それによる家屋や建築物の損壊・流出、交通マヒ、人命被害などが懸念されるが、こうした極端気象による被害を軽減するためにはあらゆる角度からの気象観測密度及び精度の充実と予測技術の向上が必要となる。フィリピン国では比較的気象業務体制やインフラが整っているが、極端気象の観測・予測、特に局所的で短時間に急変する積乱雲に起因する極端気象(豪雨、雷)の予測に係る能力は十分とは言えない。

フィリピン国では科学技術省(Department of Science and Technology: DOST)が科学技術政策の策定及び実施を担っており、その傘下のフィリピン先端科学技術研究所(Advanced Science and Technology Institute: ASTI)は科学技術開発を担っている。防災関連機関としては、フィリピン気象天文庁(Philippine Atmospheric, Geophysical and Astronomical Services Administration: PAGASA)は国家気象機関として、災害を引き起こす気象現象を監視し、国の防災管理体制の中で気象に関する情報を提供する役割を担っている。また、メトロマニラへの災害情報の提供は、市民防衛局(Office of Civil Defense (OCD))やマニラ首都圏開発庁(Metro Manila Development Authority :MMDA)が担っている。

こうした状況の中、DOSTよりマニラ首都圏における極端気象(豪雨、雷)及び台風強度の短時間予報技術の開発を通じて、マニラ首都圏の極端気象による被害軽減を図ることを目的として「フィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発」(地球規模課題対応国際科学技術協力)が要請され、2017年1月にRDが署名された。日本側研究機関を北海道大学、フィリピン国側共同研究機関をASTIとして2017年4月から開始し、2022年4月までの5年間に亘り実施中である。

本プロジェクトは、稠密及び全国規模観測網による雷及び気象の準リアルタイムでの監視システムの構築、人工衛星データによる準リアルタイムでの雲立体構造の監視システムの構築、外挿手法<sup>1</sup>による極端気象(豪雨、雷)及び台風強度の短時間予報技

<sup>1</sup> 既知の数値データを基にして、そのデータの範囲の外側で予想される数値を求める手法。

術の開発、短時間予報を防災関係機関に情報提供するためのソフトウェアの開発を行うことにより、マニラ首都圏における外挿手法による極端気象（豪雨、雷）及び台風強度の短時間予報技術の開発を図るものである。

今回実施する中間レビュー調査は、プロジェクト期間の半분이経過した時期を捉え、これまでのプロジェクト活動の実績及び成果の整理を行うとともに、プロジェクト目標の達成に向けたPDM、PO見直しの必要性検討、協力期間後半における提言を取りまとめることを目的とする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。なお、JICA 事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### （1）国内準備期間（2019年8月上旬～8月中旬）

- ①既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を提案する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P機関、その他フィリピン側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（英文）を提案する。
- ④対処方針会議等の派遣前の打合せに参加する。

### （2）現地業務期間（2019年8月中旬～9月上旬）

- ①JICA フィリピン事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、本中間レビューの評価手法について説明を行う。
- ③フィリピン側C/Pと協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤国内準備並びに上記③及び④で得られた結果をもとに、他の調査団員及びフィリピン側C/P等とともに評価5項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめに協力する。
- ⑥調査結果や他団員及びフィリピン側C/P等からのコメント等を踏まえた上で、PDM及びPOの修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
- ⑦評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえた同案の最終化に協力

する。

- ⑧協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑨現地調査結果の JICA フィリピン事務所等への報告に参加する。

（3）帰国後整理期間（2019年9月上旬～9月下旬）

- ①評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を提案する。
- ②帰国報告会に出席する。
- ③担当分野の中間レビュー調査報告書（案）（和文）を作成する。

## 8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

（1）業務完了報告書

次の①～③を添付して、2019年9月30日までに電子データをもって提出すること。

- ① 評価報告書（英文）
- ② 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）
- ③ 担当分野に係る中間レビュー調査報告書（案）（和文）

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおり。

（1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みません（見積書に計上して下さい）。  
航空経路は、日本⇒マニラ⇒日本を標準とします。

## 10. 特記事項

（1）業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2019年8月21日～2019年9月10日を予定しています。

また、調査に関してはマニラ首都圏およびマニラ首都圏近郊の機材設置サイトを調査対象地とする予定です。なお、移動用車両については事務所にて手配いたします。

本業務従事者は、JICAの調査団員に約2週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 評価計画（JICA）
- ウ) 研究主幹（JST）
- エ) オブザーバー（JST）
- オ) 評価分析（コンサルタント）

### ③便宜供与内容

JICAフィリピン事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎  
あり

イ) 宿舎手配  
あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（JICA 職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

エ) 通訳傭上  
なし

オ) 現地日程のアレンジ

JICA が必要に応じアレンジします。なお、JICA 職員等到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。

カ) 執務スペースの提供

プロジェクトオフィス内の執務スペース提供

### (2) 参考資料

①本業務に関する以下の資料を JICA 地球環境部・防災グループ防災第一チーム（TEL:03-5226-9595）にて配布します。

- ・ R/D
- ・ 詳細計画策定結果

②本業務に関する以下の資料がJICA図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・ 事前評価表

([https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2016\\_1601781\\_1\\_s.pdf](https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2016_1601781_1_s.pdf))

③本契約に関する以下の資料をJICA調達部契約第一課にて配布します。配布を希望される方は、代表アドレス（prtm1@jica.go.jp）宛に、以下のとおりメールをお送りください。

ア) 提供資料：「独立行政法人国際協力機構情報セキュリティ管理規程」及び「情報セキュリティ管理細則」

イ) 提供依頼メール：

- ・ タイトル：「配布依頼：情報セキュリティ関連資料」

- ・ 本文：以下の同意文を含めてください。

「標記資料を受理した場合、プロポーザル作成に必要な範囲を超えての使用、複製及び第三者への提供は行わず、プロポーザル提出辞退後もしくは失注後に速やかに廃棄することに同意します。」

### (3) その他

①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求め

ている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

- ②現地作業期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICAフィリピン事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地作業の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地作業中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。なお、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録してください。
- ③本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。
- ④本業務にかかる契約は「業務の完了を約しその対価を支払う」と規定する約款を適用し、国外での役務提供にかかる対価について消費税を不課税とすることを想定しています。

以上